

基本方針（案）

周年準備委員会 委員長 並木 勇樹

節目

JCI が誕生したのが 1915 年。その後、世界各地に広がっていきました。強く共感を生んだ「社会をより良くしたい」という想いは今も受け継がれ、それぞれの地域で志を持った青年たちが地域を思い愛情を注いでいます。

私たち、春日部青年会議所は来年で創立 60 周年の節目を迎えます。「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に春日部でも始まった青年会議所は、世界中で活躍している青年と同じく地域の為に活動し、先輩諸氏が時代時代の思いを受け継いできたからこそ現在も活動を続ける事が出来ています。今後も、青年会議所の運動を続けていくためにも私たちは過去に誇りを持ち、周年という節目をきっかけに次の時代を担っていく意識を持たなければなりません。

その理想を追う上で、関わる人達が変わっていく事による組織の変化に対応していかなければなりません。本質から逸れることなく、人が変わったとしても、目指すものは変わらず継続して進んでいく事が必要です。その為に、周年準備委員会では、来る 60 周年に向けて 2 つの準備を行ってまいります。

まずは、過去の春日部青年会議所の出来事を振り返る機会を設けます。設立時の事は勿論、時代ごとの出来事には関わった人たちの思いがあります。その地域への思いに触れる事は、私たち青年会議所の存在意義を知る事に繋がる事でしょう。

そして、理想の未来を描くきっかけの創出です。私たちの存在意義を知ったうえで理想の未来を描く事が出来れば意欲的な気持ちを醸成できると考えます。価値観を明確にし、描く理想の為に繋がる積極的な行動に繋がるはずです。

地域を、社会をより良くしていくんだ！という、自分だけでなく周りを気遣う事の出来る若者から発せられた思いは、次第に仲間を増やし、大きな運動へと発展してきました。忘れてはいけないのは、自らの思いです。今後もこの運動を絶やさないためにも、この節目から新たな歴史を創っていくんだ！といった気持ちを持った会員を創出してまいります。

1 年間、どうぞよろしく願いいたします。

【事業計画】

- (1) 創立 60 周年に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の拡大に関する事。
- (3) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

基本方針（案）

会員拡大会議 議長 松田 明大

魅力が生む力

私たちが今後も地域に向けた力強い運動・活動をしていく為には、継続して新たなメンバーを迎え入れていかなければなりません。理想の会員拡大は、自然と私たちに魅力を感じた人たちが集まり入会の意志を持ってもらう事です。その為に、メンバーが自身と組織の魅力を再確認する必要があります。それにより自分たちの運動・活動に自信や自覚が生まれ、自分たちの運動活動を周囲に伝えたいと思うようになると思います。

私たちの魅力とは互いに切磋琢磨・信頼し合える仲間であることと、地域に対し常に向上心を持ち活動していることです。その魅力を持ったメンバーが所属する春日部青年会議所が魅力的であることに間違いありません。そのメンバー自身から活動の意義や魅力を対象者に伝え魅力的だと感じてもらうことで、自ら望んで入会してもらうことができるでしょう。

しかしメンバーにおいては、私たちの魅力を意識して活動できていないため、周囲に対して良さを伝えることができていないのが現状です。入会していない対象者にとっては、春日部青年会議所の具体的な運動・活動や、どんなメンバーがいるのか知る機会が多くありません。メンバー1人1人が私たちの魅力を意識し率先して対象者に伝えなければ、私たちの事を知る事が出来ず入会にもつながらないため、会員数の減少は避けられません。

そこで本年度は、会員拡大会議スタッフが率先して私たちの魅力を活かした拡大運動に取り組んでまいります。そして、多くのメンバーと魅力を共有し自身の言葉で説明できるようになっていただくことで、より多くの対象者に伝えていくことができると考えます。メンバーの拡大への意識の向上をさせるべく、会員拡大会議の思いを伝え新たな入会候補者を発掘し、地域に力強い運動・活動を展開し続ける組織を実現することができるでしょう。

私は、本年度が最終年度となります。未来に向けた会員 100 人へと結果を残し、春日部青年会議所にお返しできればと思っております。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 会員の拡大に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の入会に関する事。
- (3) スポンサーに関する事。
- (4) 例会・事業のオブザーバー参加者の出席記録に関する事。
- (5) 入会対象者に関する資料の収集及び管理に関する事。
- (6) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関わる事。

基本方針（案）

JAYCEE 育成塾 塾長 濱野 昌直

温故知新

～愛をもって想いを継承し、自己成長の機会を創出する～

春日部青年会議所は1965年の創立以来59年間もの長きに渡り「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目指し、運動を展開してまいりました。今日まで運動を続けることができたのは、先輩諸氏ならびに地域の皆様からのご理解とご協力があるからです。今後、先輩諸氏が大切にしてこられた伝統や想いを継承し運動を展開すると共に、感謝の気持ちをもって自己成長を遂げてまいります。自己成長することが出来れば魅力的な人間となり、魅力的な人間が増えれば、地域の未来は希望溢れたものとなるでしょう。

しかし、この伝統や想いは入会した時点で理解し備わっている事はありません。実際に自らが聞いたり、感じたり、触れたりすることが必要です。変化を恐れずに常にチャレンジし続け、時代が変化しても変わらない伝統を理解し、継承していくべきであると考えます。また、新入会員の中には、地域を良くしたい、自己成長を遂げたいという前に、新しい環境になじめないことや、人間関係の構築が難しいのではないかと考えます。

そこでJAYCEE 育成塾では、メンバーが自己成長の為に大切な事を学ぶ機会を提供します。入会時にJCの理念や、必要な基礎的な知識を学べる場を創出致します。そして、入会間もない塾生に対して目配り気配りをし、寄り添い、参加したくなる環境を作ってまいります。先輩諸氏が大切にしてこられた、相手を思いやり接する事を忘れず私たちが行う事でその思いを伝える事が出来、次世代へ継承していけると考えます。

私は、春日部青年会議所で一生涯の友人に出会えました。苦楽を共にし、切磋琢磨することで、一生涯の友人に出会えるチャンスが春日部青年会議所にはあります。塾生の皆様にも共に成長できる一生涯の友人を見つけてほしいと考えます。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 新入会員へのオリエンテーションに関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) その他新人会員に関すること。
- (3) スポンサーに関すること。
- (4) 会員の拡大に関すること。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針（案）

総務財務委員会 委員長 金子雅樹

かくこていしん 革故鼎新

～新たなチャレンジへの礎となりて～

春日部青年会議所がこれまで通り地域の方々から信頼され続ける組織であるためには、社会に対して透明性を保つために、責任をもった組織運営が必要不可欠であると考えます。組織の筆頭委員会としてメンバーの皆様から頂いた会費や地域の方々からの協賛金といった財源が、地域のための運動に正しく使用されるように厳格に管理してまいります。

そして、最高意思決定機関である総会や理事会の運営といった組織運営における重要な役割を責任もって執り行い、組織運営の情報を正確に管理することで春日部青年会議所が地域のために力を尽くす信頼性のある組織であることを地域社会に伝えてまいります。

また、春日部青年会議所の運動を力強くしていくためには、メンバーがより活動しやすい環境を作っていくとともに、時代の変化に応じた組織運営を推進していく必要があると考えます。そこで本年度総務財務委員会では、従来通り LOM の財産であるルームの備品管理やデジタルアーカイブの整理のほか、時代の変化に応じた組織運営をするため新たなチャレンジとして最先端のことにも積極的に挑戦してまいります。昨今では持続可能な社会実現への取り組みとしてカーボンニュートラルが注目されています。この課題は春日部青年会議所も例外ではなく、時代の変化に応じた社会課題の解決に挑戦していく事が必要だと考えるからです。例えば、DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用について私たちが理解をすることで資料の電子化を進め、従来の書面による運営方法を見直してまいります。

今年度は新たな理事が多く加わる年でもあります。1年間春日部青年会議所がより力強い運動を展開していくためにも、筆頭委員会である総務財務委員会が率先して各委員会と協力し信頼関係を築き組織内の結びつきを強化してまいります。また、貢献の姿勢を持ち、責任感をもって取り組むことでメンバーが前向きに活動できるようサポートしてまいります。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

【事業計画】

- (1) 定款、諸規定に関する事。
- (2) 総会・理事会の設営および関連資料の作成。
- (3) 会員名簿の完備、ハンドブック・名刺の作成。
- (4) 褒賞、表彰に関する事。
- (5) J Cルームの管理及び物品備品の保管、管理に関する事。
- (6) デジタルアーカイブ（各資料のデジタル化と管理）に関する事。
- (7) 例会・事業に於ける会員の出欠記録に関する事。
- (8) 会費の徴収に関する事。
- (9) 財務の管理に関する事。
- (10) 各委員会との連絡調整に関する事。
- (11) その他各委員会に属さない事項に関する事。
- (12) 会員の退会に関する事。
- (13) 会員の拡大に関する事。
- (14) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

基本方針（案）

広報委員会 委員長 小松 新太郎

愛を伝える広報活動

～思いやりを受け取り、思いやりを伝える～

春日部青年会議所が力強い運動を行うためには、一人でも多くの地域の方々に私たちが明確な目的を持ち、運動や活動をしていることを発信していく必要があります。

私たちが「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に運動をしていることが地域の方々に周知されることで、感心を得ることができます。そうすることで私たちの運動を応援してもらうキッカケになり、私たちの運動や活動により力が入り、明るい豊かな社会を築くことに繋がります。また、春日部青年会議所メンバーが運動の目的を理解して能動的に活動する姿を LOM 内に発信することで、周囲のメンバーにも良い影響を与え、全体のモチベーションが向上し、更に力強い運動活動が可能になると考えます。

春日部青年会議所の各委員会は地域の課題解決のために、日々尽力しています。しかしながら春日部青年会議所の存在を知っている方の中でも、私たちの運動や目的までは、地域の多くの方々には伝わっていないのが現状です。

また、春日部青年会議所メンバーには、地域に対して力強い運動を行うために、私たちの運動に興味関心を持っていただく必要があると考えます。

今年度広報委員会では、一人でも多くの地域の方々に私たちが明確な目的をもって運動や活動を行っていることを伝えてまいります。そのためにはまず、春日部青年会議所を知って頂くために、効果的に情報を発信してまいります。既存の SNS 媒体だけではなく、多くの方々に知って頂くため、近年活用できていない SNS を活用いたします。その中には例会や事業の報告だけではなく、一人ひとりのメンバーを取材し、様々な想いを引き出し、発信してまいります。そうすることで、地域の方々に春日部青年会議所が地域に対して愛をもって運動をしていることが伝わり、春日部青年会議所メンバーには同じ志をもったメンバーがいることが伝わるため、全体のモチベーションが向上し、更に力強い運動活動が可能になると考えます。

最後に今年度の広報委員会では、一人ひとりのメンバーに目を向けて、全員で同じ志を持ち、理事長のスローガンのもと委員会一同、愛を伝える広報活動を行ってまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 専務理事の補佐に関する事。
- (2) 広報に関する事。
- (3) 例会・事業等に関する資料・写真・映像などの収集及び管理に関する事。
- (4) ホームページの管理に関する事。
- (5) 情報の収集及び提供に関する事。
- (6) サッカー部に関する事。
- (7) 会員の拡大に関する事。
- (8) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

基本方針（案）

渉外委員会 委員長 鮫島 聡

感謝の想いと新たな発見

～伝統への敬意と未来への探求心～

春日部青年会議所は、「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」という目的を掲げ、創立から 59 年目を迎えます。これまで、長きに渡り運動を続けてこれたのは、行政、関係諸団体、地域の皆様のご理解とご協力のおかげであり、それは私たちの先輩諸氏が常に感謝の思いを忘れずに誠意ある対応により信頼関係を築いて下さってきた賜物であります。長年繋いできた信頼関係の重さをしっかりと自覚し、私たちも感謝の思いを常に持ち、誠意ある対応を心掛け、更なる信頼関係を築いてくことが春日部青年会議所の力強い運動を展開していく事に寄与すると考えます。そのため、私たちは常に感謝の想いを忘れずに問合せやご要望に対し、誠意ある対応を心掛けてまいります。

また、本年も春日部青年会議所から多くのメンバーが公益社団法人日本青年会議所や関東地区協議会、埼玉ブロック協議会へと出向いたします。出向先では地域の垣根を超えた出会いや規模の大きなセミナー、LOM での活動とは違った目線での取り組みによる新たな発見ができます。この経験は出向者にとって更なる成長をする機会である事はもちろん、春日部青年会議所全体に於いても出向先で得た経験が大きな財産となるでしょう。私たち渉外委員会ではそのような学びや成長の機会を逃さず、キャッチアップする事で皆様の自己成長する機会の提供への一助を担わせていただきます。そうすることで日本青年会議所や各種協議会に携わりたいと思える環境作りを図り、LOM 以外の青年会議所活動への関心を高めてまいります。そして新たな発見、学びを得たメンバーが春日部青年会議所での活動でも、その学びを活かし、より力強い運動を展開していく事ができるでしょう。

私は本年度、初めて委員長という役を受けさせていただきました。委員会のリーダーとしての自覚をもち、愛をもって精一杯努めてまいります。

1 年間、どうぞよろしくお願いたします。

【事業計画】

- (1) 専務理事の補佐に関する事。
- (2) 慶弔に関する事。
- (3) 公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会との連絡調整に関する事。
- (4) 各種大会の案内・手配及び出向者に関する事。
- (5) 行政その他、地域の諸団体との渉外に関する事。
- (6) じゃがいもに関する事。
- (7) 会員の拡大に関する事。
- (8) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

基本方針（案）

地域ビジネス委員会 委員長 石山 陽介

想いは伝播する

～ビジネスで愛に溢れた地域へ～

ビジネスとは、目の前の人や企業の困りごとや欲求等を解決する、つまり、対象を思いやり自分事として考えることからスタートしており、継続できているビジネスは必ず誰かの役に立っています。

本年度、地域ビジネス委員会では、社会や地域の課題も自分事と捉え、ビジネスでその問題を解決しようとする人を増やすべく運動を展開してまいります。なぜならば、社会や地域の課題を解決するビジネスに携わる消費者を含めたすべての関係者に、社会や地域を思いやる気持ちが伝播するからです。そうすることで、目の前の人や企業はもちろん、社会や地域のことも自分事として捉えられる人が増え、より愛に溢れた地域になることでしょう。

しかし、社会・地域課題は解決しなければならない、と考えているものの、実際に行動に移している方は少なく、誰かが解決してくれるものと考えている方が多いのが現状です。また、ビジネスでは解決できない、と思っている人が多いのではないのでしょうか。

そこで、愛に溢れた地域にするために、社会・地域課題をビジネスで解決できる可能性を知り、探っていただく機会を提供します。地域にそのようなビジネスが増え、多くの方に周知されることで、「自分も社会・地域課題を解決できるのかもしれないからやってみよう」と考える人が増えていくでしょう。

最後に、地域ビジネス委員会は、「地域」と「同志であるメンバー」に対し、チャレンジのきっかけを与え、地域経済の活性化を促し「愛する郷土の発展」に寄与してまいります。そして、その過程において私自身を含めた委員会メンバーの「人間性の向上」を図ってまいります。春日部青年会議所として初めて「ビジネス」に取り組むというタイミングに、委員長として携わらせていただくことに重責を感じますが、愛と覚悟をもって邁進してまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いたします。

【事業計画】

- (1) 地域における思いやりのある良好な経済に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の拡大に関する事。
- (3) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

基本方針（案）

愛する子ども育成委員会 委員長 野村 一生

何事にもチャレンジ

本年度、愛する子ども育成委員会では、子ども達が自己愛に満ち溢れ、将来、人の為に行動できるような運動を展開して参ります。自己愛とは自身を大切にできる人であり、自身を大切にできる人は自分以外の誰かも大切にできる人です。自身から自己愛が溢れると友達や仲間に対して愛を注いでいくことができるでしょう。このような子ども達が増えることによって、愛に満ち溢れる地域社会になり明るい豊かな社会に近づくことができると考えます。

しかし子ども達の取りまく環境において、点数での比較や周りとの評価により自信を失くしている状況があり「失敗することを良くない」と考えてしまっているのではないのでしょうか。このような環境では、子ども自身がネガティブな考えになってしまうことで自信を持つことができなくなってしまいます。

そこで本年子ども達には、子ども自身が目標を持って物事に挑戦し、やり抜く機会を提供いたします。挑戦を繰り返し、やり抜くと決め努力を続けることで前向きな姿勢になるでしょう。その姿勢が次の挑戦へと繋がり、達成していくことで自信となり自己愛が育まれると考えます。

次に、子どもを支える大人達には、子どもが自己愛を育めるように大人が子どもの考え方ややりたいことを尊重し、取り組んだことに対して認めてあげることが必要です。なぜなら、子どもが決めた目標をとことんやらせてあげられる環境作りが大切だからです。

しかし、近年は自治会や子ども会の廃止により、年代を超えた交流やつながりの機会が減っております。それにより大人が子どもの考え方を理解できない現状があるのではないのでしょうか。

そこで大人達には、子どもが挑戦できる環境を作り、サポートしてほしいと考えます。そうすることで、子ども自身が認められたと認識することができ、自己肯定感が育まれるでしょう。

最後に、私自身が委員長を引き受けたのも「とりあえずやってみよう」のチャレンジ精神です。やるからには、愛を持って地域の子子ども達や大人、LOMメンバー達と共に1年間、楽しく活動して参ります。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

【事業計画】

- (1) 次世代の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の拡大に関すること。
- (3) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針（案）

国際交流委員会 委員長 伊野瀬雄蔵

LOVE&PEACE

～海を越えた人々の愛に触れ 明るい未来に繋げよう～

春日部青年会議所とアメリカ合衆国カルフォルニア州パサディナ青年会議所との交流事業は今年で39年目を迎え、私が生まれる前からこのプログラムは行われてきました。そのお陰で地域の国際化は進み、当たり前のように共に支えあう日常を今日まで送ることができた事に、両青年会議所の先輩諸氏を始めとする地域の皆様に深い感謝と心からの敬意を表します。

パサディナホームステイプログラムは両JC間の理解と友情を深めるだけではなく、次代を担う青少年達に、互いに手を取り合う事の大切さを学んでもらえる貴重な機会です。しかし、現在では渡米経験のあるメンバーは1割以下となり、次代を担う青少年においては、訪日外国人は増加しているものの、海外からの情報は紛争や分断など緊迫したものも多く、自身が国外に飛び出す勇気を中々持てずにいるのが現状です。このままでは、積み上げてきた両JC間の理解と友情が途切れてしまうと共に、次代を担う青少年達が、互いに手を取り合う事で生まれる愛を知る機会が失われてしまいます。それは、今後も増加する、文化や習慣の異なる海外からくる方々と共に歩む地域の国際化にも影響を与えてしまうでしょう。

そこで、本年は卒業までの在籍期間が2年以上あるメンバーにも積極的に参加して頂く為に、渡米前から行う会議等に参加して頂き、参加意欲を高めて参ります。また、次代を担う青少年達には、パサディナの地で待っているホストファミリーと対面する前に、在日する海外からやってきた方々との交流を行い、世界に目を向ける機会を創出して参ります。そして、国際的な知見を広げる事が出来るこのプログラムにも、チャレンジしてもらいたいと考えます。

最後に、多くの次代を担う青少年達と春日部青年会議所メンバーで海を越えた人々の愛を感じに行き、恒久的な世界平和への一歩を踏み出して参ります。

LOVE&PEACE 1年間、どうぞよろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 国際交流に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) パサディナ青年会議所との交流事業に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 会員の拡大に関すること。
- (4) 会員の意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針（案）

じゃがいも キャプテン 鈴木 大翔

じゃがいも大作戦

～新たな交流を掴み取れ～

春日部青年会議所では、本年度に至るまで先輩諸氏と現役メンバーで行われる、じゃがいもゴルフコンペを開催しております。ここでは普段交流することが出来ない先輩諸氏や日頃あまり話したことがない現役メンバーとの交流をすることが出来ます。また、春日部青年会議所への想いや考え方を知れるとても貴重な場です。

更に秋のじゃがいもゴルフコンペでは、久喜青年会議所との合同コンペとなっており、他の青年会議所メンバーとの交流を図れるとともに、春日部青年会議所とは異なる視点や考え方など知れる機会です。

私自身、ゴルフは春日部青年会議所に入会するまで経験のないスポーツでしたが、じゃがいもをキッカケにゴルフを行うようになりました。ルールが分からない私でしたが、このじゃがいもで先輩諸氏や現役メンバーと新たな交流ができました。

ゴルフというスポーツは老若男女全ての世代で楽しめ、交流を図るに相応しいスポーツだと感じております。まだ、ゴルフに行ったことがない、やってみたいけど機会がなかった方は、是非じゃがいもゴルフコンペに参加して頂き、ゴルフの楽しさ、奥深さ、そして参加することで得られる交流の素晴らしさを多くのメンバーが体験できればと思います。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) じゃがいも春場所の実施。
- (2) じゃがいも秋場所（一般社団法人久喜青年会議所との合同）の実施。
- (3) じゃがいも練習会の実施。
- (4) 会員と親睦を図ること。

基本方針（案）

サッカー部 キャプテン 齊藤 博

サッカーから深まる「絆」

私は、サッカーを小学校1年生から約30年間をやっており、子供の頃から大好きなスポーツです。サッカーは世界中から愛されており、その魅力はボールさえあれば、すぐにできるスポーツであり、未経験の方でも楽しくでき、何歳になっても競技ができるということです。パスを繋いで点を決めることは1人じゃできません。サッカーは人と人で繋いで、信頼関係をつくり、パスを回しゴールを決め、みんなで競技するという面白さがあります。私は、沢山のメンバーとサッカーを通じて交流が出来ればと考えております。

昨年まで「コロナ」が原因で運動不足だった皆様！今こそ、体を動かすことでワガママbodyとお別れしましょう。また、運動が苦手な方や未経験の方が参加していただけるように、誰にでも楽しめるような工夫していければと考えております。OBの皆様やご家族、ご友人の参加も大歓迎です。

今年は、サッカーで交流が深まるような場を提供していきたいと考えております。経験者の方も未経験者の方もサッカー部に参加して共に汗を流して絆を深めましょう。

Let`s all play soccer!!

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

【事業計画】

- (1) 練習会の実施。
- (2) 全国大会への参加。
- (3) 会員との親睦を図ること。